



みなさまこんにちは！ 蒸し暑い日が続く中、みなさまお忙しくされていることと思います。
今回は訪問歯科診療をされている奈良市歯科医師会会長の森先生に、口腔環境を清潔に保つことの大切さや
訪問歯科診療についてご執筆いただきました。



訪問歯科診療について

学園前歯科 院長 森 直樹

訪問歯科診療の重要性についてまだまだ認識されていないのが現状です。奈良市歯科医師会に入会している会員約200名の中でも、取り組んでいる歯科医院は全体の3割ぐらいです。診療に伺うには、まず施設または患者様から困っている原因などを聞いた上で時間的な調整や距離などを確認して、診療に必要な切削機器やレントゲン、吸引機器、口腔ケアキットなどを準備し、歯科衛生士と共に訪問歯科診療に向かいます。この事柄が中々訪問歯科診療に理解、協力して頂ける先生が増えない理由と考えます。

しかしながら訪問歯科診療は非常に重要であり、高齢者の方や身体の不自由な方などが施設に入所したり病院に入院していて、歯科医院へ通院しにくい方の健康維持には必要不可欠です。何故ならば、口腔管理は誤嚥性肺炎の予防や咀嚼力の向上に繋がり、病院の入院日数が半分に短縮されたというエビデンスも出ています。また、定期的な健診を行うことは歯科での治療回数の減少にも繋がり、歯科衛生士による口腔ケアを受ける事で口腔内が清潔に保たれ、残存歯牙の存命や咀嚼力の向上にも繋がります。

命は医師により救命されますが、助けられた命を維持していくのは、医師と歯科医師との連携が重要と考えます。



訪問歯科診療のようす

持参物品

食事は、最初に口から摂取し、良く噛み砕いて咀嚼する事で栄養を全身に届けます。その一番最初の入り口である口腔が良く噛めない状態であったり、歯を支えている歯茎が歯周疾患を患い口腔内が不衛生で、歯石などが付着している事で、唾液などから歯や歯茎の病気の原因菌である歯周病菌や溶連菌などを全身に運んでしまい、その結果、脳梗塞や肺炎、心疾患などの全身の病気につながることもあります。口腔内と関係が無い場所に不調を引き起こす原因にもなり、口腔内を清潔に保つ事が重要で、少なくとも月2回はメンテナンスを受けるようにしてください。

また、本人が自分で口腔清掃が出来ない場合、歯磨きや歯間の清掃、義歯の清掃など、支援者や御家族の方々の協力が必要になります。より有効で効果的な方法を歯科衛生士が教える事で患者様の健康維持の手助けになり、それは訪問歯科診療の重要な役割と考えます。

スムーズな訪問歯科診療が受けられるように、受診申し込みや連絡事項について窓口を統一する事や、協力してくれる歯科医院を増やす事が重要です。訪問歯科診療で患者様の健康管理について実績を報告する事で、その重要性を広く周知していかなければなりません。歯科診療だけでなせることなく、医科歯科連携として取り組んでいかなければなりませんので、関係各位様には協力をお願いします。





病院紹介コーナー 登美ヶ丘リハビリテーション病院



当院は2014年に開院し今年で12年目に入ります。122床を有する回復期リハビリテーション病棟専門の病院で365日休むことなくリハビリを提供しています。セラピストも100名近く在籍しており、必要に応じて入院中の家屋調査や退院後の介護保険を利用した訪問リハビリの提供などサポート体制も整えております。

地域連携部は現在7名のメンバーで全員が社会福祉士の資格を有しており、入院前の面談から入院日時の調整、そして退院に至るまで一貫した支援をしており、シームレスな関りを持っています。様々な疾患の方が入院をしており、中には気管切開や経管栄養の方など重症ケースもあります。患者さまの身体状況や社会背景など、その方に合わせた支援計画を他職種とも密な連携を取りながら立て、退院まで寄り添った支援を心がけています。患者さま一人ひとりの社会復帰や住み慣れた地域での在宅生活を目指していくためには、ソーシャルワーカーとしても変化していくニーズを敏感に感じ取り、応えられるようにしていかなければなりません。医療知識を深めることはもちろんのこと、ソーシャルワーカー各々が技術の向上に努め、現状に満足することなく日々精進していくことが大切であると考えています。

磨いた知識や技術を患者さま、ご家族に還元していくとともに、さらには地域医療を担う者として医療の発展に貢献し、今まで以上に信頼される病院づくりを目指していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。🍀



包括紹介コーナー 富雄西地域包括支援センター



富雄西地域包括支援センターは、鳥見小学校区と富雄第三小中学校区を管轄しています。当事業所の大きな特徴は、医療介護事務員が常駐している点です。これにより、社会福祉士、保健師、主任支援介護専門員といった専門職やケアマネジャーが外出している際でも、電話による相談や問い合わせに迅速に対応することが可能です。

担当エリアである鳥見・帝塚山地区は坂道が多く、日々の移動が自然なリハビリテーションにつながっています。また、春には美しい桜が咲き誇り、遠出しなくても近隣で気軽に花見を楽しむことができ、地域の人々がランチを楽しむ様子も見られます。

近隣の居宅介護支援事業所が少ない現状を踏まえ、現在はインフォーマルサービスを活用した生活支援を目指し、社会資源の開発に力を入れています。鳥見地区・帝塚山地区とも、社会福祉協議会や地区社会福祉協議会の積極的な取り組みにより、通いの場、移動店舗、サロンなどの活動が積極的に行われています。支援センターも含め、地域住民の方々が気軽に集える場を提供するため、2ヶ月に1度、帝塚山住宅地にあるカフェを借りて、お茶やお菓子を楽しみながら認知症について学ぶ交流会を開催しています。これからも、地域の人々が住み慣れた自宅で安心して自立した生活を過ごすことができるように、きめ細やかな支援を継続してまいります。🍀



7/14
(月)

「奈良あんしんネット(MCS)」による災害時模擬訓練を実施します

災害時、電話やFAXが繋がらない場合に備え、職員や他事業所との連携、連絡方法のひとつとして奈良あんしんネットが有効です。**共助のネットワークづくり**のため模擬訓練にぜひご参加ください！
また、災害時に自分や職員がどう行動するか、**小さなシミュレーション**をしてみましょう。

